

発行：令和4年5月31日

聖籠町立亀代小学校

はまっこ

〒957-0105
聖籠町大字次第浜 4614
電話 0254-27-2029
FAX 0254-27-7827
児童数 328 名

「自分らしさを発揮し 共に生きる子ども」

第3号



「亀代小学校ミニ運動会」の魅力

校長 伊藤健文

5月21日（土）に亀代小学校のミニ運動会が開催されました。天候にも恵まれ、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様、そして転出された職員等の皆様からご来校いただき、子どもたちに大きな声援をおくっていただきました。また、運営面においてもたくさんの皆様からお手伝いいただきましたことに感謝申し上げます。

私は、小学校の頃、運動会が好きでした。運動が得意だったということではなかったのですが、「今日も、楽しみだな。頑張るぞ。」と思いながら登校したことを覚えています。

子どもたちにとって、運動会は、とても魅力的な行事の一つです。運動会に向けた取組が始まると、休み時間も張り切って活動し、楽しんでいる様子が亀小の子どもたちに多く見られました。そんな運動会の魅力とは、一体何なのでしょう。苦手な教科の学習より楽しいから…。そういった一面もあるのは確かだと思います。しかし、それだけでは、運動会に向けて「張り切って」活動し、運動会を「楽しむ」子どもたちの姿に結びつかないのです。

今年度、徒競走、応援合戦、ペア学年同士の団体競技を実施しました。団体競技では、練習当初から上級生が下級生をリードしようという行動が見られました。本番当日、5年生と3年生の「お助け玉入れ」では、互いに「よくねらって入れて。」、4年生と2年生の「台風の目」では、「気をつけて回って。」、6年生と1年生の「アゲホイ玉ひろい」では、「いいよ、たくさん拾って。」などのリードしようとする言葉などが飛び交っていました。うまくいかなかった時には、自分やチームが何をできるか考えて、試してみる。成功した時は、みんなで思い切り喜び合う。こう言う経験が、亀小の子どもたちを大きく成長させ、集団としての高まりを生みます。決して数値では表すことはできないのですが、とても価値あるものです。

みんなでつくりあげる過程を通して、集団で学び、活動する良さを味わい、学校生活に楽しさと豊かさを見いだすことのできた運動会でした。

準備、開閉会式、応援合戦、各種競技、ふり返りを通して、子どもたちが自分の課題に目を向けて成長しようとする姿、学年で、また学年を超えて心を合わせて頑張ろうとする姿、下級生のお手本となって導こうとする姿こそが、「亀代小学校ミニ運動会」の魅力なのです。